

## 令和7年度 保護者の意見

保護者の皆様には、お忙しい中、学校評価に御協力いただきましたこと心より感謝申し上げます。頂いた下記の御意見や御感想は、今後の学校運営をより良いものにするための貴重な資料となります。

皆様の御意見の中には、「考えて行動できる子」「思いやりのある子」「自分の考えが言える子」「明るくのびのびした子」「粘り強く頑張る子」などこれからの時代を主体的に生きる力や人とよりよく関わる力を大切にしたいという願いが多く寄せられました。これらを踏まえ、「子供たちの安全・安心な学校生活の充実」「学習環境のさらなる向上」「家庭・地域とのつながりを深める」ことを保護者の皆様と力を合わせながら、よりより学校づくりを目指してまいります。今後とも、御理解と御協力を宜しく願います。

### 【感想】

- ・担任の先生が大好きな子供たち。お家でも、先生に褒められたことなどを、嬉しそうに話してくれます。玉小で良かったです。
- ・裏門側に、ミラーを設置してくれて、非常にありがたいです。
- ・いつも子供たちの為に、ご尽力いただきましてありがとうございます。家庭でもそうですが、子供達が主体的に行動するには興味・関心が必要だと考えています。家庭学習や授業に主体的に意欲的に取り組んでほしいと願いながら、子どもにいかに関心・興味を持たせる工夫ができるかを家庭・学校・地域が連携・協力して取り組めたら良いなと思います。そのために、私たちができる事を協力させて下さい。
- ・特にありませんが、先生方が健康で充実した教育活動を行えるように協力できればと思います。
- ・いつも先生たちには感謝しています！引き続き宜しくお願い致します。
- ・いつも温かいご指導をありがとうございます。担任の先生が、子ども同士のトラブルに対して迅速かつ丁寧に対応してくださり、いじめに発展せずに済んだことを大変感謝しております。
- ・毎日朝早くから校門や、横断歩道に立って挨拶してくださっている校長先生をはじめ、先生方、PTAの方に感謝しています。
- ・授業参観で学校での子どもの様子を見る機会がたくさんあったので、楽しそうに学習している姿を見ることができて安心しています。
- ・いつもありがとうございます。
- ・これからもよろしくお願い致します。
- ・3 学年から、楽しく学校へ通えることを、とても嬉しく思います。校長先生、教頭先生、先生方、職員の皆様、本当にありがとうございます。「ありがとう」の感謝の気持ちで、私もできる範囲で、学校の活動に協力していきたいと思えます。
- ・4年生の時は、あれほど荒れていた学年が5年生になりピタリとおとなしくなっているので、感動しています。先生方の力があればこそ！！ありがとうございます。
- ・いつもありがとうございます。毎日学校が楽しいと話しています。きりんの時間がある日はいつもその話をしてくれます。本人楽しいようです。これからもよろしくお願い致します。
- ・特に、ありません。皆さん、とても頑張っていると思います。いつもありがとうございます。
- ・先生方のおかげで子どもが楽しく学校に通っています。いつも本当にありがとうございます。
- ・いつもご指導ありがとうございます。
- ・現場の先生方、ありがとうございます。
- ・いつもありがとうございます。子どもは毎日学校に行くのを楽しみにしています。先生方のかかわりに感謝です。
- ・過酷な労働時間の中、いつも子供たちの為にありがとうございます。イベント毎に、他の小学校より盛り上がりが見られ、羨ましがられています。玉小に通わせて良かったと思っています。先生方、無理をなさらずに、これからも宜しくお願い致します。（6年生のリレーのアナウンス面白かったです）
- ・4年生になって、勉強面も生活面もすごく成長したと思います。本人もとても学校が楽しいようで、学校での出来事をよく話してくれます。担任の先生のこと好きで、玉小で良かったと感じます。ありがとうございます。

- ・いつもありがとうございます！
- ・学校が楽しい！仲間が最高！と言って幸せそうに登校し、帰宅すればトラブルや不満、楽しかったこと、嬉しかったこと盛りだくさん報告して、1日1日を全力で満喫している感じがしています。忘れものも多々ありと、ご迷惑もおかけしていると思います。
- 色々なことが起きる学校で、しっかりと見守って導いて下さる先生方のおかげで子供達は未来に向けて、毎日、新しい事を学び、成長を遂げています。
- ・のびのびとした子供たちが多い玉城小をこれからもよろしく願います。
- ・平等に子供たちが過ごせる環境であればとてもいいと思います！
- ・いつも、ありがとうございます。これからも、御指導・御鞭撻宜しく願います。
- ・学校に毎日、行くように頑張っているから良かった。・宿題も家にて頑張ってる。家で体調管理をしっかり行い、頑張っている。学校では、元気に勉強に取り組むようにしてほしい。
- ・黒板中心の授業だけでなく、子ども一人一人に寄り添った学習方法を取り入れてほしい・子どもの苦手分野を把握し、克服につながる指導を充実させてほしい。・将来、社会で役立つ力を育めるよう、実生活と結びつけた教育の強化。
- ・学習の習熟度に応じて、個々の勉強法を変えることができれば、全体のボトムアップに繋がるのではないのでしょうか？
- ・理解できた子はより理解を深めどんどん先に進み、理解が十分でない子は、しっかりサポートして、「わかった！」の経験を積んでいく。
- ・1日に1時間でもいいので、「授業が楽しい」「学ぶことが楽しい」と感じられるような授業作りをお願いしたいです
- ・特に、算数など、正しい答えをだすことを重視するのではなく、問題の解き方や考え方の方向性などを丁寧に教えてほしい。
- ・勉強が楽しいって思える子が、より増える環境づくり、これからもよろしく願います。
- ・外部講師の授業を取り入れて、様々な人の活躍を聞く場を設けてほしい。
- ・誰かが正しくないことをした時に、ひとくくりに連帯責任にすると、正しくしていた子の士気が下がるので、ちゃんと、特定の子だけを注意・サポートしてほしい。（指導について）
- ・学校の予算や方針があるかとは思いますが5、6年生の社会見学がなくなって少し残念です。
- ・卒業式は同じ子ばかりが前に出るのはなく、みんなの卒業式にしてほしい。
- ・運動会の協力は、同じ人が複数回割り当てられていたので偏らないように改善して欲しい。
- ・毎年、行われている持久走大会は、授業参観にあてるのではなく、児童のみで行ってもいいのでは？と個人的には思います。足が遅い・早い、体力がある・ないがわかりやすく出てしまうので、コンプレックスにならないかな？と見てて思いました。
- ・朝の開門を早くしてほしい。
- ・たまぐすくっ子まつりをやってほしい。
- ・送り迎えをする時、横断歩道の所や自宅前付近に駐停車する車があるので迷惑しています。
- ・忙しくなかなか子供の学習をみる余裕がないのが本音です。
- ・仕事を帰って、おうちのことをしたらくたくたで、難しいです。すみません。
- ・特にありません
- ・周辺地域に子ども達が放課後や休日に遊べる公園や児童館がほとんどない。遊びを通して友達との関係や、物事の考える力を養って欲しいため、放課後学校などで遊べる環境があったらいいなと思います。又、スポーツや音楽などのクラブ活動もあって、色々な体験ができればいいなと思います。
- ・休日に運動場などを開放して、子供達の活動に使用させてほしい。

## 【御意見を受けて】

### ○学校の創意工夫について

・学校改善に向けてたくさんの御意見ありがとうございます。学校がよくなってほしいという保護者の願いをしっかりと受け止めたいと思います。すべての御意見には回答できませんが、1つ1つ学校改善への貴重な御意見として、関係者と共有して改善できることから取り組んで参りたいと思います。

・黒板中心の授業や学習の習熟度についてですが、本校では現在、「自ら学びに向かう自立した学習者の育成～個別最適な学びと協働的な学びの一体化を通して～」を研究テーマに掲げ、授業改善に取り組んでおります。

・一人ひとりを大切にする学び(個別最適な学びの充実)

子どもたちの理解度や個性はそれぞれ異なります。そのため、習熟度に応じた課題の工夫、発展的な学びへの挑戦機会を通して、わかった喜びを積み重ねる子、さらに深く学び続ける子を育てていきます。

「できた」という小さな成功体験の積み重ねが自信と笑顔につながると考えています。

・つながりの中で育つ学び(協働的な学び)

授業の中でも、友達と考えを伝え合う。違う意見を受け止める。一緒によりよい答えを見つけるといった学び合いを大切にしています。算数においても、正解を求めるだけでなく、「なぜ、そう考えたのか」を語り合う時間を重視していきたくと考えています。

・授業参観日の持久走大会の在り方についてですが、ご指摘の通り、体力や走力等の違いが目に見やすい活動は、子どもたちによっては不安やコンプレックスにつながる可能性があることを学校としても十分に配慮すべき点であると受け止めております。一方で、先日の持久走大会では、多くの保護者の皆様から温かな声援をいただき、普段以上に意欲的に取り組む姿も見られました。保護者の皆様に学習の様子や成長過程を直接見ていただける機会としての意義も大きいと感じております。本校では、順位や勝敗のみを重視するのではなく、「最後までやり抜く姿」「友達を応援する姿」など多様な価値を認め合う場となるような工夫をしております。今後も、児童一人一人の心情に十分配慮しながら、内容や実施方法について検討を重ね、より安心して参加できる形を模索してまいります。

・卒業式の在り方について、「同じ子ばかりが前にでるのではなく、みんなの卒業式にしてほしい」というお声は、大切なご指摘として受け止めております。卒業式は、卒業生一人ひとりにとってかけがえのない節目の場であり、誰にとっても「自分の式」であることが大切であると考えております。全ての卒業生が参加の実感を持てるよう実施してまいります。

・社会見学についてですが、もっともお声として受け止めております。校外での体験は、子ども達にとって重要な学びの機会であると学校も認識しております。

本校では、5年生は宿泊を伴う自然教室、6年生は修学旅行を実施しており、学年の発達段階や年間指導計画、行事全体のバランスを踏まえて教育課程を編成しております。授業時数や予算(近年のバス代の上昇)、安全面への配慮を総合的に検討した結果、現在の形となっています。校外学習に代わる教材活用や外部講師の招聘、映像資料の活用など効果的な学習機会となるよう、全体の教育活動のバランスを見ながら検討を重ねてまいります。

### ○教師の指導について

・指導についてですが、ご指摘のとおり、誤った行動があった際に一括りにして指導することは、正しく行動している子どもたちの意欲や自己肯定感を下げってしまう可能性があるため、学校としても認識しております。個々の状況を丁寧に把握し、できる限り当該児童への個別指導・支援を基本とするよう努めて参ります。一方で、集団生活の中では「みんなで考える」「学級全体でよりよい在り方を確認する」といった指導が有効な場合もあります。その際にも、正しく行動している児童の頑張りが埋もれることのないよう、肯定的な声掛けや評価を大切に参ります。

## ○連携体制・情報発信について

・放課後や休日の子どもたちの居場所づくりについてですが、地域に公園等が少ない中で、安心して遊び、多様な体験を通して成長してほしいという願いは、学校としても大切にしたい思いです。

しかしながら、学校施設は教育活動を目的として設置されており、放課後や休日に子どもたちのみで自由に使用できる形で開放することは、安全管理や事故発生時の責任の所在、施設管理上の課題等から、現状では難しい状況にあります。今後も、関係機関や地域団体との連携の可能性について模索してまいります。現時点では学校としてできる範囲に限りがあることを御理解頂ければ幸いです。子どもたちの健やかな成長のために、引き続き地域全体で支えていく在り方を共に考えていければと存じます。

・運動会における協力体制について、一部の方に複数回の御協力をお願いする形となり、偏りがあるように感じられたことについては、配慮が十分でなかった点もあったと受け止めております。今後は、割り当て方法の見直し等を行い、偏りが生じないように工夫してまいります。

・お仕事や御家庭のことで、お忙しい中、毎日お子さんを支えておられることに、まず心より感謝いたします。「なかなか学習を見る余裕がない」というお声は、決して特別なことではなく、多くの保護者の皆様を感じておられる現実であると受け止めております。

御家庭では、長時間勉強を見ることよりも、「今日どうだった？」と一言声をかけていただくことや「頑張っているね」と認めていただくことが、お子さんにとって大きな力になります。

どうか無理をなさらずに、御家庭でできる範囲でかかわっていただければと考えます。学校と家庭がそれぞれの立場で支え合いながら、子どもたちの成長を見守っていただければと考えております。

・登下校時の駐車についてですが、横断歩道付近や住宅前への駐停車により、御迷惑や危険を感じておられることについて、学校としても大変心苦しく受け止めております。児童の安全確保は最優先事項であり、看過できない問題であると認識しております。

本校では、これまでも繰り返しメール等で協力依頼を行い、保護者の皆様へ安全運転及び周辺住民への配慮をお願いしてまいりました。しかしながら、依然として一部で改善できない状況が見られます。学校としては、継続的に協力依頼を行うとともに、必要に応じて関係機関とも情報共有を図りながら、安全確保に努めてまいります。ただし、校外での交通規則につきましては、学校のみで関わることはできない点も御理解頂ければ幸いです。

・まつりなど子どもたちが楽しみにできる行事を実施してほしいというお気持ちは、大変嬉しく思います。子どもたちにとって、地域や保護者の皆様とともに過ごす行事は、思い出に残る貴重な機会になるものと考えております。一方で、学校が主催として新たな行事を実施することについては、教育課程の編成や教職員の業務量、働き方改革の観点から、現状では難しい状況があります。現在も教育活動及び既存行事の運営で一定の業務量となっており、学校主導での新規イベント立ち上げは容易ではありません。

もし、実施を検討される場合には、PTAや保護者、地域の皆様が主体となって企画・運営していただく形であれば、学校として可能な範囲で会場提供や連携・協力を検討するのは可能と考えております。